

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜清流高等特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月22日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 岐阜清流高等特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	清水 達郎	芥見南自治会連合会	会長
副会長	松本 和久	岐阜聖徳学園大学教育学部	教授
委員	五十川勝也	芥見東身体障害者福祉協会	会長
	伊藤 知子	株式会社十八楼	女将
	井上 友紀	芥見東自治会連合会	会計
	大倉 美江	すまいる工房株式会社	管理者
	後藤 美恵	岐阜清流高等特別支援学校	PTA 会長
	林 武	岐阜県老人福祉施設協議会	副会長(欠席)
学校側	乙津真由美	校長	
	三輪 孝司	教頭	
	横田 真	部主事	
	北川 百合	教務部長	
	黒柳 潔	進路指導主事	
	吉田 徹	生徒指導主事	

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 学校経営の取組について

##### ○教務部

意見1: 新学習指導要領になり「思考力・判断力・表現力」と言われるようになった。今までそれもそれを大事にして育ててきているが、今後も継続してほしい。

意見2: 資格取得は自信になる。介護職員初任者研修について、特別支援学校の生徒であるが支援を受ける方ではなく、支援をする側になっていく。修了人数が多いことは素晴らしい。

##### ○進路指導部

意見1: 「先輩と語る会」について、身近な先輩が話すことや、卒業後の先輩の姿に興味がある。卒業後の自分の姿と重ねることができる。継続して行ってほしい。

意見2: コロナ禍で、3年生が1年生の時には3期のうち1期しか実習できなかった。不安だったが、しっかり進路が決まって良かった。

意見3: 定着支援について、離職前に相談に来るシステムを作っていってほしい。保護者からも卒業しても学校に相談するように促してほしい。

○生徒指導部

意見1：部活動を活発に行っていることが分かった。特別支援だけではないところでも活躍している。引き続き頑張してほしい。

意見2：問題行動を0にするのは難しい。起きた後の対応を丁寧にやってほしい。「生徒に伝える、分かる指導」「生徒が繰り返さないような指導」を行ってほしい。

○保健安全部

意見1：コロナは5類になっても、まだ無くなったわけではない。自分で自分の健康に気を付けることができるようにしてほしい。

○研修支援部

意見1：校務支援システムのことが挙げられていた。「個別の教育支援計画」の作成は大変である。システム導入のスタートは大変かも知れないが、事務仕事に忙殺されることなく生徒に向き合う時間が増えるようになると良い。

○渉外部

意見1：地域との連携について、希望者だけでなく生徒会やMSリーダーズが参加することは良いこと。参加の良いきっかけになるのではないかな。

意見2：PTA活動の推進について、「保護者との連携」がA評価なのが素晴らしい。今後も継続して行ってほしい。

(2) 工業コース新製品の価格決定について

意見1：企業からの受注製品について、企業への説明の時には、話して説明するだけでなく、プレゼンを使用して説明すると、より分かりやすいのではないかな。

(3) 次年度の学校運営について

- ・スクールポリシーの制定
- ・校則の見直し
- ・学校運営協議会委員について

※代表生徒との懇談

意見1：「自分の生きたいように生きる」そういう道に進んでもらいたい。清流の卒業生として自信をもって進んでほしい。

意見2：卒業後、就職しても悩むことが絶対あるが、一人で抱え込まないでほしい。卒業しても先生たちに相談したり、友だちに相談したり、親を頼ったりしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・令和5年度 学校経営の取組について承認が得られた。
- ・工業コースの新製品価格設定について承認が得られた。
- ・令和6年度 学校運営について承認が得られた。

○代表生徒（3年生3名）との懇談を行った。生徒の学校に対する思いや、将来に向けての決意等を直接聞いていただくことができた。

○多くの肯定的なご意見をいただくことができた。開校から7年間、様々な多くの方から応援していただいたことに感謝すると共に、本協議会でいただいた意見を踏まえ検討し、来年度の実践に繋げていく。